



#1 Coating Technology in The World
Molecule Gradient Layer (MGL)TM Technology

強い粘着力による、信頼ある薄膜固定テープ
分子勾配膜®両面テープ

200A30

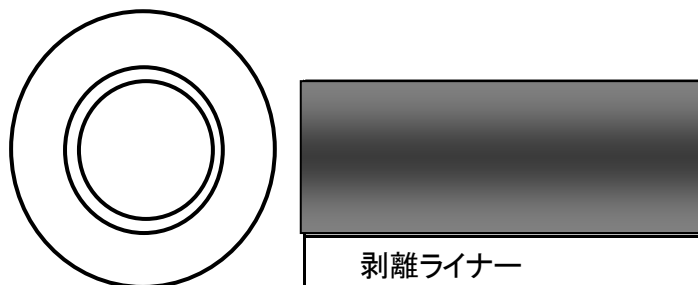
特徴

- ①薄くて高い粘着力
- ②金属に限らず、各樹脂へも良好な性能発揮
- ③極細や極小形状への打ち抜き加工性が抜群
- ④追従性・対反発性に優れます。
- ⑤高温化でも優れた粘着力
- ⑥UV塗装面、高分子ポリエチレン等の難接着面にも高い接着性

用途

- ・携帯電話などモバイル製品部材固定
液晶部品固定
キーシート固定
銘板固定
- ・パソコン部品固定
キーボード仮固定
基板固定

構造



特殊構造アクリル粘着層
テープ厚み:0.03mm

特性

1. 基本特性

製品名	厚み (mm)	粘着力 (N/25mm)	引張強度 (MPa)	伸び率 (%)
200A30	0.03	10	0.45	80

測定方法 粘着力 JIS Z0237
引張強度 JIS K7127

2. 被着体別温度別粘着力

(単位:N/25mm)

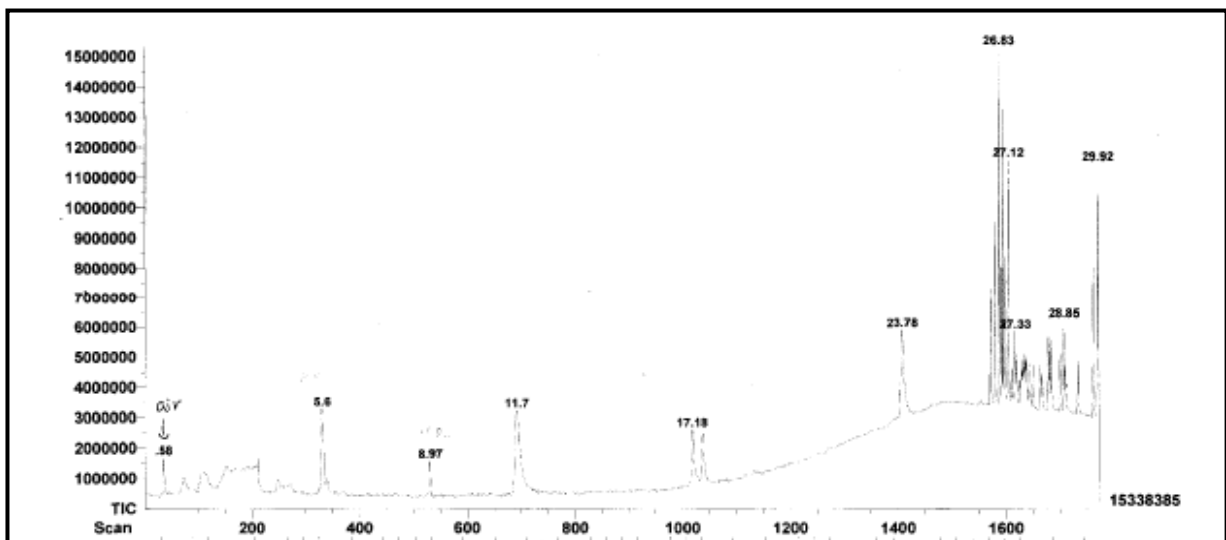
被着体	測定温度		
	85℃	23℃	-20℃
ステンレス板	14	12	9
ABS板	13	12	11
アクリル板	12	10	8
ポリカーボネート板	11	9	6
ポリプロピレン板	9	7	4

裏打ち材 PET25 μ m
引張速度 300mm/min
引張角度 180度
測定温度 23℃
貼り合わせた後、24時間後の測定値

3. 粘着テープ燃焼発生ガス測定

試験内容 ダブルショットパイロライザー付きガスクロマトグラフィー質量分析器にて、燃焼時の発生ガスの分析を行った。

試験手順 ①サンプルを測定ホルダーに入れる。
②500℃に燃焼して、発生した燃焼ガスをガスクロマトで、分離し、質量分析器でガスを特定した。



検出された物質は、化審法にて、「特定」「監視」対象物質ではありませんでした。
また、該当なしとされた、法令は、
右の通りでした。

化審法
労働安全衛生法

4. 使用方法

- 1) 貼り合せる材料面のほこり、油などの汚れや水分を除去します。
- 2) テープをときほぐし、指圧にて被着体に貼り合せる。
- 3) ロールなどで十分に圧着した後、セパレータを剥がします。
- 4) 貼り合せる被着体を重ね合わせ、均一に圧着すれば、強力な接着強さが得られます。

ご使用上の注意

- 技術資料は全て共同技研化学(株)の研究室で行われたテストと実測値を基準に作成されております。但し、製品特性は環境や被着体によって大きく変わることがあります。したがってこれらの特性データにつきましては参考値であり、保証値ではありません。ご使用される前にこの製品が使用用途・環境に適しているかお確かめの上ご使用ください。
- 上記測定は、室温(23℃)下にて行われたデータです。低温(5℃以下)の場合、粘着力は、急激に低下する場合があります。

保管の注意

- 必ず箱に入れて保管してください。
- 保管場所は、直射日光の当たらない冷暗所を選んでください。特に、高温高湿下(温度30℃以上 湿度50%以上厳禁)にさらさないでください。

共同技研化学株式会社
〒359-0011
埼玉県所沢市南永井940番地
TEL 04-2944-5151

2011年11月21日 発行